

【地 I】

点 A から辺 BC に下ろした垂線の足を H とすると、

$AH = \sqrt{6}$ ,  $BH = \sqrt{2}$ ,  $CH = \sqrt{6}$  より、

$\triangle ACH$  は直角二等辺三角形となるので

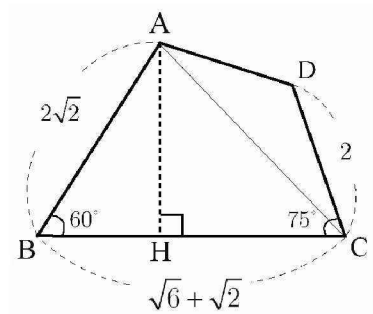
$AC = 2\sqrt{3}$ ,  $\angle ACH = 45^\circ$

求める面積  $S$  は

$$S = \triangle ABC + \triangle ACD$$

$$S = \frac{1}{2} \cdot 2\sqrt{2} \cdot (\sqrt{6} + \sqrt{2}) \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{2} \cdot 2\sqrt{3} \cdot 2 \cdot \frac{1}{2}$$

$$= 2\sqrt{3} + 3 \quad (\text{答})$$



【工Ⅰ】【医Ⅰ】【地Ⅱ】

(1) (a) 一の位が偶数より,  $2 \cdot 4^4 = 512$  通り (答)

(b) 各位の和が9の倍数になるものを数え上げて,

11124, 11133, 11223, 12222, 24444, 33444

並べ替えを考慮に入れて

$20+10+30+5+5+10 = 80$  通り (答)

(c) 万の位が3, 4のとき  $2 \cdot 4^4 = 512$

万の位が2のとき, 千の位が2, 3, 4より  $3 \cdot 4^3 = 192$

よって  $512+192 = 704$  通り (答)

(2) (医学科のみ)

5桁の整数は全部で  $4^5 = 1024$  個あるので

${}_{1024}H_2 = {}_{1025}C_2 = 524800$  通り (答)

【医Ⅱ】【工Ⅱ】【地Ⅲ】

(1) Hは平面ABC上の点より  $s+t+u=1$  …①

また、 $\overrightarrow{OH} \perp (\text{平面ABC})$  より  $\overrightarrow{OH} \perp \overrightarrow{AB}$ ,  $\overrightarrow{OH} \perp \overrightarrow{AC}$  から

$$\begin{cases} -2s+3t+u=0 & \cdots\text{②} \\ -2s+t+4u=0 & \cdots\text{③} \end{cases}$$

①, ②, ③より  $s = \frac{11}{21}$ ,  $t = \frac{2}{7}$ ,  $u = \frac{4}{21}$  (答)

(2) (1)の結果から  $\overrightarrow{AH} = \frac{2}{7}\overrightarrow{AB} + \frac{4}{21}\overrightarrow{AC} \Leftrightarrow \overrightarrow{AH} = \frac{10}{21} \cdot \frac{3\overrightarrow{AB} + 2\overrightarrow{AC}}{5}$

$\therefore BP : PC = 2 : 3$  (答)

(3) (2)より

$$\overrightarrow{AP} = \frac{3}{5}\overrightarrow{AB} + \frac{2}{5}\overrightarrow{AC} = \left(-1, \frac{8}{5}, \frac{4}{5}\right)$$

$\therefore |\overrightarrow{AP}| = \frac{\sqrt{105}}{5}$  (答)

【地Ⅳ】

(1)  $5!+4!+3!=(5\cdot4+4+1)\cdot3!=150$  (答)

(2)  $a!+2$  が 2 の累乗になると仮定すると  $a!+2=2^k$  ( $k$  は整数) とおくことができる。

ここで、 $a \geq 4$  より  $k$  は 5 以上の整数となる。このとき、 $\frac{a!}{2}=2^{k-1}-1$  となり、

$k \geq 5$  から右辺は奇数、 $a \geq 4$  から左辺は偶数となり矛盾。 (証終)

(3)  $\frac{a!}{2}+4$  が 2 の累乗になると仮定すると  $\frac{a!}{2}+4=2^l$  ( $l$  は整数) とおくことができる。

ここで、 $a \geq 6$  より  $l$  は 9 以上の整数となる。

このとき、 $\frac{a!}{2}=2^l-4$  から  $\frac{a!}{8}=2^{l-2}-1$  となり、 $l \geq 9$  から右辺は奇数、

$a \geq 6$  から左辺は偶数となり矛盾。 (証終)

(4)  $c \geq 3$  のとき、 $a \geq b \geq c \geq 3$  より  $a!+b!+c!$  は  $3!$  ( $=6$ ) を約数にもつので  $c=1, 2$  としてよい。

(i)  $c=1$  のとき  $a!+b!+1=2^m$  ( $m$  は 2 以上の整数)

$b \geq 2$  とすると左辺は奇数、右辺は偶数となり矛盾ゆえ  $b=1$  としてよく

$a!+2=2^m$  は(2) より  $1 \leq a \leq 3$  に限られ、 $a=2, 3$

(ii)  $c=2$  のとき  $a!+b!+2=2^n$  ( $n$  は 3 以上の整数)

$b \geq 4$  とすると  $\frac{a!}{2}+\frac{b!}{2}+1=2^{n-1}$

左辺は奇数、右辺は偶数となり矛盾ゆえ  $b=2, 3$  としてよく

(イ)  $b=2$  のとき  $\frac{a!}{4}+1=2^{n-2}$  より成立しない

(ロ)  $b=3$  のとき  $\frac{a!}{2}+4=2^{n-1}$  より(3)から  $3 \leq a \leq 5$  に限られ、 $a=4, 5$

以上(i), (ii)より

$(a, b, c)=(2, 1, 1), (3, 1, 1), (4, 3, 2), (5, 3, 2)$  (答)